

ネットはどのように燃えるのか

——インターネット掲示板の書き込みに対する計量テキスト分析より——

桑 畑 洋一郎

1 はじめに

本稿は、ネット炎上における“燃料”となりうる要素を計量テキスト分析により明らかにし、近年注目されることの多いネット炎上のメカニズムを解明することに貢献することを目的とするものである。

ネット上でのコミュニケーションが多くの人々に開かれ、それにより、情報の伝播可能性と伝播速度が劇的に広がった。マスメディアによる情報伝播が中心であった状況と比較して、相対的に些細な出来事が多くの人の目に留まる可能性が高まり、さらにそうした出来事に対する論評を多くの人が行うことが可能な状況が生じている。

そうした状況で生じている、社会問題的な事象の1つが、ネット炎上（ウェブ炎上）である。荻上チキによる定義を援用するならば、「ウェブ上の特定の対象に対して批判が殺到し、収まりがつかないような状態のこと」（荻上 2007: 7）を指し、「ブログやSNSの日記、掲示板などに対して批判のコメントが殺到し、運営者だけでは管理しきれない状態になってしまった場合」（荻上 2007: 7）が典型的な炎上であるとされる。さらには、ネット炎上が場合によってはネット外に派生し、さらなる問題的な事象を引き起こすこともある。たとえば、炎上対象者の実名や勤務先、自宅など個人情報暴露され広められる行為を指す、「ネットリンチ」（安田 2015）（Ronson 2015=2017）がある。以上のように、ネット炎上とその周辺で起きている諸事象は、ネット上でのコミュニケーションの発達に伴い、注目を集めている新しい社会問題の1つであると言える。

こうした、新しい社会問題であるネット炎上についての研究も蓄積されている。まずネット炎上の研究として蓄積されてきたのが、なぜ炎上が起こるのかという問いに基づいたものである。たとえば、平井智尚によると、ネット炎上が起きる背後要因として、日本のウェブ文化——特に2ちゃんねる的文化と携帯電話文化——の特有性があるとされる（平井 2012）。あるいは、ネット炎上がどう収まるか／収められるかといった観点からの研究もある。たとえば田代光輝と折田明子は、炎上事例の検討を通して、炎上がなぜ起きてどのようなきっかけで収まったのかを指摘している（田代・折田 2012）。

こうして、いくつかの観点から、ネット炎上についての研究が蓄積されている中、

田中辰雄と山口真一によって体系的な分析も試みられている。田中と山口は、その著作において、炎上がどのようなトピックについて起きやすいのか、炎上を起こす／加担する人々の属性はどのようなものなのか実証的に明らかにした（田中・山口 2016）。田中らによると、炎上は「反社会的行為や規則に反した行為（の告白・予告）」「何かを批判する、あるいは暴言を吐く・デリカシーのない発言をする・特定の層を不快にさせるような発言・行為をする」「自作自演、ステルスマーケティング¹⁾、捏造の露呈」「ファンを刺激（恋愛スキャンダル・特権の利用）」「他者と誤解される」（田中・山口 2016: 23-55）場合に生じる傾向があるとされる。こうした、何かしらのきっかけがあり炎上が起き、それが主にSNSを經由して拡散された後、「まとめサイト」などでさらに情報が集積され、最終的にマスメディアで報じられるに至るという流れを経ることが多い（田中・山口 2016: 55）。着火→個人レベルでの拡散→情報集積地での拡散→マスメディアでの報道という流れを経るということである。

また、やはり田中らによると、炎上には、男性の方が女性よりも加担しやすく、若年層の方が加担しやすい。あるいは、子どもと同居している場合の方が加担しやすく、年取が高いほど加担しやすい。加えて、ラジオ視聴時間や、ソーシャルメディア利用時間が長いほど、ネット上の掲示板を利用する頻度が高いほど加担しやすい（田中・山口 2016: 109-11）。

またさらに、こうした、炎上が生じるメカニズムや炎上加担者の属性についての研究の他に、炎上が起きないコミュニケーション様式を模索する立場からの研究も多く蓄積されている（長谷・会田 2018）。

本稿は、田中・山口らと同様に、炎上が生じるメカニズムを実証的に明らかにしようという問題意識に立つ。と同時に、しかしながら従来の研究ではそれほど着目されてこなかった、炎上の“燃料”になりうる要素に注目し、それを明らかにしようとするものである。“燃料”とは要するに、炎上を継続させるために、炎上しているところに新たに投入される、炎上対象者やその周辺にまつわる、主に負の意味を持つ情報のことを指す。ネット炎上も、実際の火と同じく、燃えるための材料が供給され続けなければ徐々に勢いが弱まり、鎮火してしまう。ゆえに、炎上が継続され続けるためには、何かしらの“燃料”が供給される必要がある²⁾。本稿はこの、炎上材料となりうるものがどういう要素を含むのか明らかにすることを目的とする。先に着火→個人レベルでの拡散→情報集積地での拡散→マスメディアでの報道という炎上のプロセスを示したが、炎上事例によっては、こうしたプロセスの途上で／上記プロセスを一巡した後に、更なる“燃料”がどこかから投下されることで、火がさらに激しく燃え上がることもある。本稿は、こうした“燃料”に注目し分析を行うものである。

このことには以下の2つの意義があろう。1つは、どういう要素が人々を動かしやすいのか明らかにする社会学・社会心理学的な意義である。高史明は、ツイッターにおいて在日コリアンに言及した投稿に見られる語のパターンへの分析から、レイシズムの扇動に用いられる語彙を明らかにした(高 2015)。社会運動論が「フレーミング」という概念で示したように、何らかの社会的な動きや潮流に人々を動員し続けるためには、そうした動きや潮流の意味を解釈する枠組みを提供することが重要となる(Crossley 2002=2009: 228-44)。ネット炎上をある種の社会運動の1つとしてとらえれば、そうした運動に人々が動員され続ける“燃料”を明らかにすることもまた重要な意味を持つだろう。もう1つ本稿には、やや実践的な部分での意義がある。すなわち、人々を炎上への加担に駆り立てるための“燃料”がどういう要素を持つものか示すことは、炎上に無批判に加担してしまうことを食い止めるための方策を検討することにも貢献するものとなりうる。

以上2点の意義に基づき、本稿は、ある炎上事例に対する計量テキスト分析を元に、何が炎上を継続させるのか、すなわち炎上の“燃料”となるものはどういった要素を持つのか検討していくこととしたい。

本稿は以下の構成を取る。続く第2章では、分析対象と方法の概要を説明する。第3章では、計量テキスト分析の結果を示す。第4章では、得られた結果に対する考察を行う。

2 分析対象と方法の概要

2.1 分析対象

本稿は、絵本作家「のぶみ」(敬称略。また、以下括弧を外して表記する)の動向をネット上で追いかけているネット掲示板の書き込みを分析対象とする。具体的に対象とするのはネット掲示板「5ちゃんねる」(<https://5ch.net/>、以下括弧を外して表記する)の「絵本板」(<http://mevius.5ch.net/ehon/>、以下括弧を外して表記する)であり、対象とする書き込みがなされた期間は、2017年1月19日より2018年9月18日である。書き込みは、「スレッド」(以下括弧を外して表記する)形式で、定められたテーマに沿って利用者が自由に行えるものとなっている。1スレッドあたりおよそ1000書き込みがなされる設定となっており³⁾、本稿では、全部で62スレッドを対象として分析を行った。なお、最新の62スレッド目については、本稿で対象とするのは2018年9月18日の書き込みまでであるが、その後も書き込みはされ続けている。

スレッドによっては、既に書き込みデータを5ちゃんねるから取得することができないものもあったため、そうしたスレッド⁴⁾も含めて書き込みを取得するために、5

ちゃんねるの過去の書きこみを記録している「ログ速」(<https://www.logsoku.com/>)から取得した。62スレッドすべてのスレッドタイトルとURLは以下の通りである。

表1：分析対象とする書き込みがなされたスレッドのタイトルとURL

スレッドタイトル	URL
絵本作家 のぶみ	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1484754400/
絵本作家 のぶみ Part2	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1517992481/
絵本作家 のぶみ Part3	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1518066310/
絵本作家 のぶみ Part4	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1518250092/
絵本作家 のぶみ Part5 ワッチョイあり ⁵⁾	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1518250461/
絵本作家 のぶみ Part6	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1518420993/
絵本作家 のぶみ Part7	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1518496216/
絵本作家 のぶみ Part7 ⁶⁾	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1518602878/
絵本作家 のぶみ Part9	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1518762663/
絵本作家 のぶみ Part10	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1518909271/
絵本作家 のぶみ Part11	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1519123948/
絵本作家 のぶみ Part12	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1519296379/
絵本作家 のぶみ Part13	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1519461910/
絵本作家 のぶみ Part14	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1519617861/
絵本作家 のぶみ Part15	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1519777322/
絵本作家 のぶみ Part16	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1519898823/
絵本作家 のぶみ Part17	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1520062521/
絵本作家 のぶみ Part18	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1520547817/
絵本作家 のぶみ Part19	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1520750178/
絵本作家 のぶみ Part20	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1520904706/
絵本作家 のぶみ Part21	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1521028975/
絵本作家 のぶみ Part22	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1521273943/
絵本作家 のぶみ Part23	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1521555770/
絵本作家 のぶみ Part24	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1521721694/
絵本作家 のぶみ Part25	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1522039056/
絵本作家 のぶみ Part26	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1522163505/
絵本作家 のぶみ Part27	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1522276856/
絵本作家 のぶみ Part2 ⁷⁾	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1520904708/
絵本作家 のぶみ Part29	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1522510583/
絵本作家 のぶみ Part30	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1522581863/
絵本作家 のぶみ Part31	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1522717826/
絵本作家 のぶみ Part32	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1522848811/
絵本作家 のぶみ Part33	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1522943399/
絵本作家 のぶみ Part34	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1523181921/
絵本作家 のぶみ Part35	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1523805019/
絵本作家 のぶみ Part36	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1523974837/

絵本作家 のぶみ Part37	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1524445793/
絵本作家 のぶみ Part38	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1524724286/
絵本作家 のぶみ Part39	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1525519077/
絵本作家 のぶみ Part40	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1525874540/
絵本作家 のぶみ Part41	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1526373136/
絵本作家 のぶみ Part42	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1526907131/
絵本作家 のぶみ Part43	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1528149485/
絵本作家 のぶみ Part44	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1528756058/
絵本作家 のぶみ Part45	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1529034916/
絵本作家 のぶみ Part46	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1529678943/
絵本作家 のぶみ Part47	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1531038273/
絵本作家 のぶみ Part48	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1532100426/
絵本作家 のぶみ Part49	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1532497870/
絵本作家 のぶみ Part50	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1532613024/
絵本作家 のぶみ Part51	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1533027239/
絵本作家 のぶみ Part52	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1533350410/
絵本作家 のぶみ Part53	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1533555170/
絵本作家 のぶみ Part54	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1533740415/
絵本作家 のぶみ Part55	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1534166200/
絵本作家 のぶみ Part56	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1534614253/
絵本作家 のぶみ Part57	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1535203035/
絵本作家 のぶみ Part58	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1535845853/
絵本作家 のぶみ Part59	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1536298857/
絵本作家 のぶみ Part60	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1536510537/
絵本作家 のぶみ Part61	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1536801785/
絵本作家 のぶみ Part62	https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1537007598/

2.2 のぶみとのぶみをめぐる炎上

のぶみとは、1978年東京生まれの男性絵本作家である。絵本に関する情報が網羅されている絵本ナビ (<https://www.ehonnabi.net/author.asp?n=3317>) では、2018年10月12日現在で111件の作品がヒットする。

さて、本稿がこののぶみを取り上げる理由としては、2018年2月上旬に彼をめぐる炎上事件が起きたためである。この炎上は、のぶみ作詞の楽曲「あたしおかあさんだから」について、歌詞に問題があるとネット上で指摘がなされたことが発端で起きた。具体的に問題視されたのは、この楽曲の

一人暮らししてたの おかあさんになるまえ
ヒールはいて ネイルして

立派に働けるって 強がってた

今は爪きるわ 子供と遊ぶため
走れる服着るの パートいくから
あたし おかあさんだから

あたし おかあさんだから
眠いまま朝5時に起きるの
あたし おかあさんだから
大好きなおかずあげるの
あたし おかあさんだから
新幹線の名前覚えるの
あたし おかあさんだから
あたしよりあなたの事ばかり

という部分であった（引用はhttps://www.huffingtonpost.jp/2018/02/04/atashi-okaasan-dakara_a_23352738/より）。炎上起きた直後にこの件を取り上げたhuffingtonpostの2018年2月5日付記事によると、

こうした歌詞に対し、子育てを最優先にする"献身的な"お母さん像を「呪い」のように押し付けているなどの意見がTwitter上で寄せられた。また、母親が一人きりで子育てに取り組む「ワンオペ育児」を賛美している、母親ではない女性たちも軽視しているなどの批判もあった。（https://www.huffingtonpost.jp/2018/02/04/atashi-okaasan-dakara_a_23352738/）

とされ、要するに、“結婚／出産前の自由を子育てのために意図的に捨てる母親像”が称揚されているかのように見える歌詞であったことが炎上の理由となった。批判だけでなく、のぶみ自身による釈明や、のぶみのファンの擁護も相混じって、議論が展開されることとなった。

2.3 分析対象とする、5ちゃんねるの絵本板について

さて、のぶみが炎上を起こす前からのぶみの作品や発言に注目し続けていたのが、本稿で分析対象とする5ちゃんねるの絵本板で書き込みを続けていた人々であった。

絵本板とは、5ちゃんねるの中でも「専門板」と呼ばれるタイプの性格が強い掲示板で⁸⁾、元々絵本や絵本作家に興味がある人々が集い書き込みを行う場となっている。そのため、上述の通り、分析対象とする書き込みの中で最も古いものは2017年1月19日のものであり、当然炎上が起こる前の書き込みである。これが本稿で5ちゃんねるの絵本板を分析対象とする理由である。

つまり、炎上起きた後は、絵本板以外の板（たとえば既婚女性板やニュース速報系の板）でも、のぶみが作った歌詞が原因で起きた炎上とのぶみの言動を紹介し論評する書き込みが多数なされているのだが、これらは基本的に、炎上が生じたことが主たるきっかけでのぶみに注目し始めた人々による書き込みで構成されているため、一過性が高い書き込みが多い。したがって、炎上の勢い（火の強さ）を見る上では有効な分析対象となろうが、本稿で注目しようとする、炎上の“燃料”（火を継続させるもの）を見る上では若干そぐわないものであると考えられた。そのため、炎上が起こる前からのぶみに注目し続けており、炎上がある程度鎮まった後ものぶみに注目し続けている絵本板を分析対象とすることとした。

2.4 分析方法の概要

分析は、計量テキスト分析ソフトであるKHcoder3を用いる。KHcoder3は、樋口耕一が開発したフリーソフトであり、<http://khcoder.net/>よりダウンロード可能である。

計量テキスト分析ソフトと表現されることからわかる通り、本来質的性格の高いデータであるテキストデータを数量化し統計分析を行うことを目的としているソフトである。このソフトは、テキストデータを語単位に分節化して抽出し、出現頻度や出現傾向を統計的に示してくれる。それによって、たとえば、テキストデータ中で使用頻度が高い語が明らかにされ、書き手の癖のみならず強調されている語や概念を分析することが可能となる。あるいは、どの語とどの語がセットになりやすいか、共起のパターンを探ることが可能となる。このソフトの利点の1つは、こうした、テキストデータの背後にある意味世界を探索することを可能にする点にある。ゆえにたとえば今回のような炎上をめぐるテキストデータを分析するならば、炎上の原因としてどのような語や概念がどのような結びつき方で使われているのが可視化され、そのことによって、炎上を正当化／批判するために用いられている語彙や、炎上の指向性を明らかにすることができる。このように、テキストデータという質的なデータを計量的に分析し、そこから語の使われ方とその背後にある意味世界を探索的に明らかにすることを目的として、本稿でもこのソフトを用いることとした。

また、本稿でこのソフトを用いる理由はもう1点ある。それは、後述するように本

稿で分析対象とする書き込みの量が非常に多いため、ソフトに頼った分析を行わないと分析が不可能であるためである。人間の処理能力を超えた量のデータを扱うことを可能にすることも、KHcoder3も含めた分析ソフトの利点の1つとして挙げられるだろう。

3 分析

3.1 基礎統計

まずは、得られたデータの基礎的な情報を示したい。上記した掲示板から得られた書き込みは、テキストファイルにして12867KBであった。KHcoder3によって抽出された総抽出語数は3419912字である。使用された語は100253種類であった。なおこれは、固有名詞やネットスラングを1単語として抽出するように／抽出されると分析に支障をきたすような語⁹⁾を抽出しないように、筆者が指定した後の結果である。ちなみに、Microsoft Wordの文字カウント機能を使って元データで使用されている文字数をカウントした場合、データ全体で8436666字だったため、KHcoder3による抽出と筆者の指定を経た後で500万字程度が捨象されていると考えられる。また、対象とした期間の月別書き込み文字数——こちらは抽出／非抽出を指定する前の数をMicrosoft Wordの文字カウント機能を用いて計測したものであるため、KHcoder3による総抽出語数と合計が一致しない——を図示すると以下ようになる。

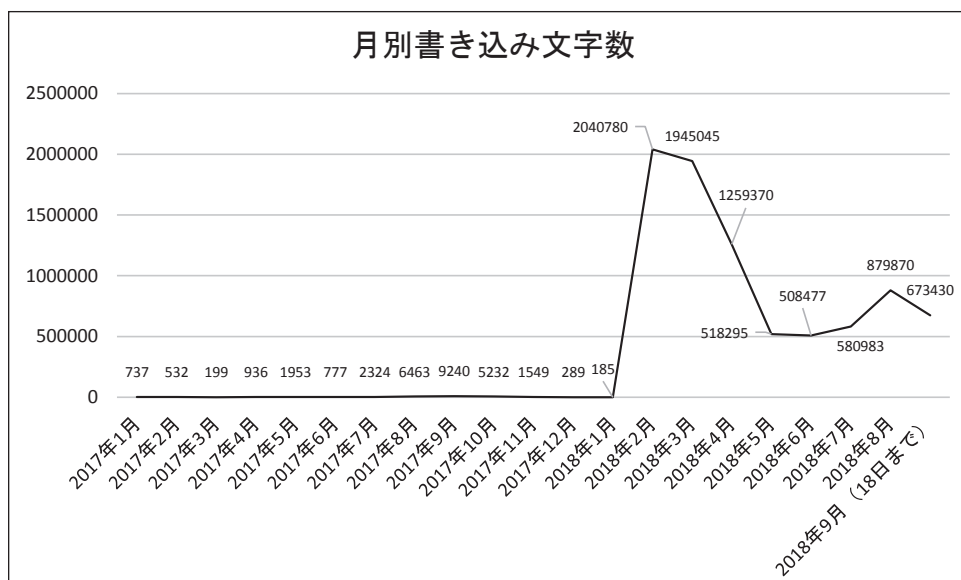


図1：掲示板における月別書き込み数

さて、まずもってこの結果から、本稿で析出しようとしている、炎上の“燃料”となりうる要素を考える手掛かりが得られる。それは第1に、2018年5月以降の動きより、一旦鎮火に向かっても何かが投入されることで炎が再燃すること（結果A）、第2に、2017年7月～2017年10月の動きより、大炎上前に若干の火種の投入があること（結果B）である。結果Bについては、2018年2月に起きた大炎上の勢いがあまりに強いため見落としてしまいそうになるが、2017年7月からの動きも何かしらの予兆を示しているように考えられる。

そこで本稿4章では、より詳細な分析結果と、基礎統計から得られたこの2つの結果を加えて、“燃料”を検討することとしたい。具体的には、結果AとBを元に、2017年1月から2018年1月までを「くすぶり期」、2018年2月から2018年4月までを「大炎上期」、2018年5月から2018年9月までを「再燃期」と区分して、後の分析に用いたい。この3つの区分を元に図示化すると以下ようになる。

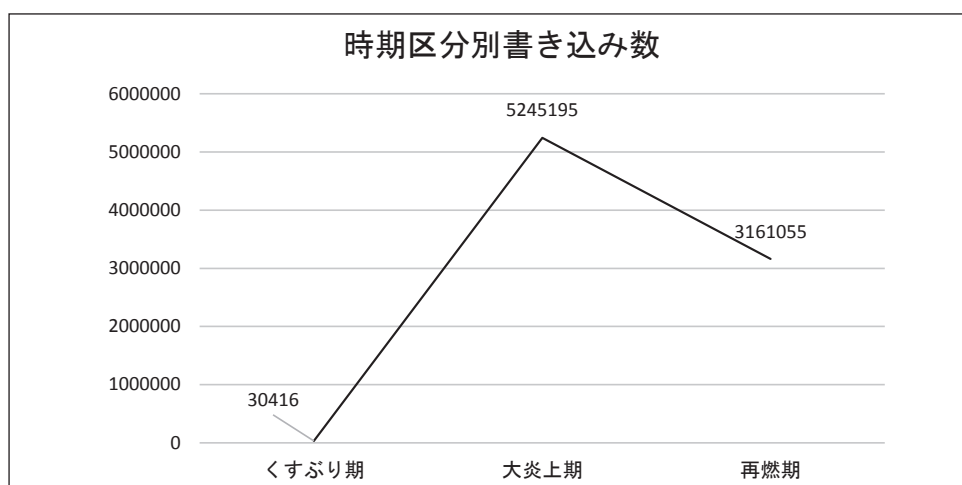


図2：時期別書き込み数

さて、再度得られたデータの基礎的情報を示していきたい。KHcoder3によって抽出された、頻出50語を示すと以下の表ようになる。まずは期間全体の頻出50語を示したい。

表2：期間全体頻出50語¹⁰⁾

語	回数	語	回数	語	回数	語	回数	語	回数
のぶみ	17178	信者	3153	ママ	1833	年	1495	え	1177
w	9952	作家	3024	本	1812	www	1466	母親	1171
人	9074	読む	2999	今	1782	炎上	1457	本人	1150
絵本	8308	総長	2988	聞く	1779	嘘	1442	多い	1116
思う	7578	スレ	2597	好き	1617	描く	1440	感じ	1108
言う	6993	子供	2545	知る	1596	出す	1393	売れ	1085
見る	4479	講演会	2090	回	1564	絵	1322	ファン	1071
自分	4300	話	2052	悪い	1544	行く	1210	作る	1057
書く	3178	アンチ	2029	子ども	1537	良い	1193	Twitter	1051

なお、「w」「www」というのは、(嘲笑の意図が強い) 笑いを示すネットスラングである。

続いて、期間別に頻出15語を示すと以下ようになる。期間別の詳細な分析は後に行うこととするが、3期共に頻出している語については網掛けを施している。

表3：期間別頻出15語

くすぶり期		大炎上期		再燃期	
語	回数	語	回数	語	回数
絵本	119	のぶみ	10972	のぶみ	6109
のぶみ	87	w	6604	w	3307
回	50	人	5799	人	3231
人	44	絵本	5151	絵本	3038
w	41	思う	5139	思う	2404
え	38	言う	4570	言う	2401
思う	35	いい	3150	いい	2269
作家	33	見る	2810	見る	1650
いい	31	自分	2702	自分	1578
読む	28	総長	2227	信者	1301
書く	25	書く	2104	アンチ	1162
言う	22	読む	1955	書く	1049
自分	20	作家	1913	ママ	1044
見る	19	信者	1849	作家	1016
西野	17	スレ	1801	読む	1016

表3を見るに、「大炎上期」と「再燃期」においては、「信者」という語が用いられる傾向があることが特徴的である。「信者」とは、批判対象を擁護する人々を揶揄的に指す場合に使われがちなネットスラングであり、炎上を食い止めようとする人々を揶揄する書き込みも、炎上を勢いづける“燃料”の1つとなっている可能性が示唆されよう(結果C)。

以上をふまえて、続く節では、“燃料” となりうるものを、より詳細に析出していくこととしたい。

3.2 語の出現傾向から探る“燃料”

KHcoder3を用いると、各期で特有の出現傾向がある語を、単なる出現回数のみならず、他の語との結びつき（共起）のあり方も含めてネットワーク図として析出することができる。各期で特有の出現傾向がある語の共起ネットワーク図を描くと以下のようなになる。

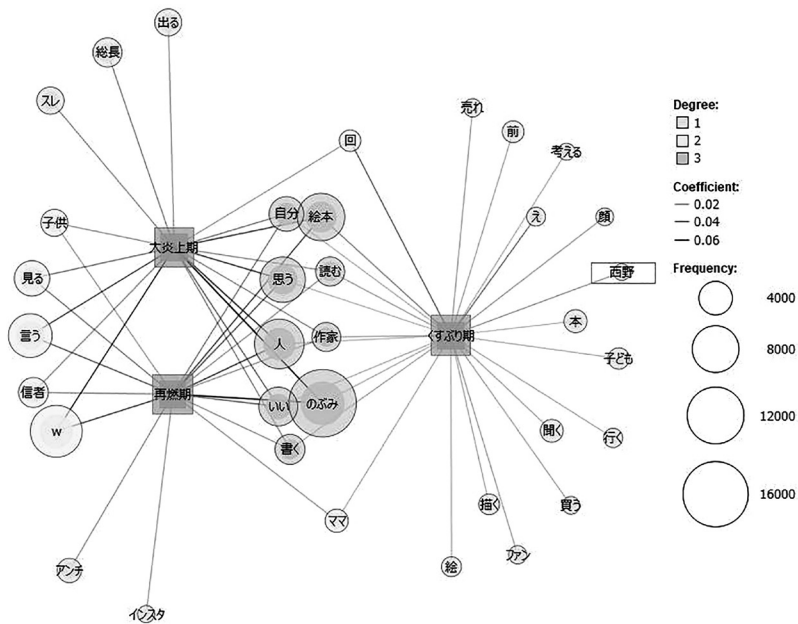


図3：各期別共起ネットワーク

この図を見ると、3期すべてに共通して「のぶみ」「人」「作家」「いい」「思う」「絵本」などの比較的中立的な語が用いられていることがうかがえる。しかし一方で、炎上が顕著になってからは「w」といった、何かしら否定的・嘲笑的な笑いの意思があることを示そうとする語や、先に見た「信者」のような炎上対象への態度で発言者の属性を二項対立的に規定するような語が（あるいは「アンチ」といった語も）用いられるようになることがうかがえる。炎上という事象の特性上当然のことであろうが、一旦着火すると、火を消そうとする側（信者）と火を燃やし続けようとする側（アンチ）とに参加者を二項対立的に見なす語が登場し始め、否定的・嘲笑的な意味を持つ語が用いられ始めるようになるということである（結果C）。

さらにこうしたことを見るために、語をグルーピングして（コーディングして）、3期それぞれでどのような語がどのように用いられているのかを見てみたい。コーディングは、元文章を見ながら帰納的に行ったものであり、本稿での分析に用いるコードのコーディングルールは以下の通りである。「*」の後に続くものがコード名であり、次の行に列記されているのがそのコードに含まれる語である。

表4：コーディングルール

<p>*のぶみ のぶみ、ノブミ、のぶみさん、ノブミサン、ノブ、のぶ、のぶみん</p>
<p>*のぶみ蔑称 あなご、アナゴ、チンアナゴ、ほのぶみ</p>
<p>*他の絵本作家、マンガ家 谷川俊太郎、ヨシタケ、やなせ、かこさとし、せなけいこ、五味太郎、宮西達也、鈴木まもる、西原理恵子、石原まこちん、さくらももこ、藤子、手塚治虫、安西水丸、堀雄二、堀井雄二、ピカソ、シェイクスピア、佐藤雅彦、森川ジョージ、まどみちお、シュルツ、小池一夫、あべ弘士、伊藤秀男、かわかみたかこ、立本倫子、はまのゆか、シゲタサヤカ、北村裕花、新井洋行、山村浩二、はやしますみ、堀川理万子、みやこしあきこ、かとうまふみ、平澤一平、えがしらみちこ、市居みか、出久根育、広瀬克也、たごもりのりこ、降矢なな、たしろちさと、高島純、加藤休ミ、岡田千晶、吉田尚令、寺門孝之、とりごえまり、accototo、山口マオ、きたじまごうき、山田詩子、つつみあれい、コマヤスカン、早川純子、ザ・キャビンカンパニー、コヨセ・ジュンジ、あずみ虫、まるやまあやこ、田中六大、秋山あゆ子、加藤晶子、石黒亜矢子、陣崎草子、加古里子、西巻茅子、tuperatupera、どいかや、いせひでこ、長谷川義史、ささめやゆき、ORANG、きくちちき、トーベン・クールマン、かがくいひろし、松谷みよ子、尾田栄一郎、ミツル、LICO</p>
<p>*他の作家の作品 アンパンマン、ドラえもん、もぐらバス、はじめの一步、ぞうさん、IWGP、池袋ウエストゲートパーク、チャーリーブラウン、がたんごとん、くつくつあるけ、おさじさん、おじいちゃんがおばけになったわけ</p>
<p>*子ども一般 子ども、子供、児童、幼児、男の子、女の子、こども、赤ちゃん、あかちゃん</p>
<p>*母親 母親、ママ、お母さん、シンママ、ワーママ、主婦、共働き家庭、働くお母さん、はたらくお母さん、パート、フルタイム、育休、ワンオペ、ノイローゼ</p>
<p>*父親 お父さん、おとうさん、父親、旦那</p>
<p>*育児 子育て、育児</p>
<p>*倫理、規範 ジェンダー、女性蔑視、男尊女子、役割分業、ミソジニー、女らしい、男らしい、母性観、母性、倫理、道徳、モラル、ルール、規範</p>

*ヤンキーゴシップ

ヤンキー、元ヤン、暴走族、族、池袋連合、補導、逮捕、タイマン、半グレ、チーマー、ギャング、犯罪、ヤクザ、連合、総長

*性的ゴシップ

不倫、浮気、ママハント、出会い系、スキヤンダル、ママ漁り、女目当て、お母さん目当て、ポリセク、ロリコン、ポリネシアンセックス、ポリネシアン、チュッチュハグ、夜這い、マザコン、色キチ、変態

*他ゴシップ

経歴詐称、替え玉、カンニング

*パクリゴシップ

パクリ、パク、盗作

*芸能人、有名人

マツコ、大吉、西野カナ、乙武、渡辺謙、瓜田、和田アキ子、嵐、イチロー、伊集院光、ひすいこたろう、はるかぜちゃん、叶姉妹、尾木ママ、尾木直樹、ディーアフジオカ、滝沢カレン、岡田斗司夫、上杉隆、クロちゃん、ふなっしー、マイケルジャクソン、ジョンレノン、いしだ壱成、広瀬香美、岡崎体育、久田、久田将義、羽生、井戸田、安達祐実、吉田豪、鈴木おさむ、春奈、加藤、羽生結弦、羽生ゆずれない、佐田、バッドボーイズ、瀬戸内寂聴、坂本九、小島慶子、東野圭吾、速水健朗、能町

*負の芸能人、有名人

イケハヤ、堀江、ホリエモン、下山家、栗城、栗城史多、西野、キンコン、キンコン西野、西野亮廣、麻原、はあちゅう、佐村河内、佐村河内守、佐野研二郎、サノケン、さのけん、押尾学、麻原彰晃、てんつくまん、軌保、池川明、長倉顕太、エムナマエ、岡本憲将、チエ、すみれ、HAPPY、入江富美子、小林正観

*横山だいすけ

横山だいすけ、だいすけお兄さん、だいすけお兄さん、すけ兄、だいすけおにいさん

いくつか説明が必要なコードがあると思われるので、簡単に説明を行いたい。「ヤンキーゴシップ」コードというのは、のぶみが語る自身のヤンキー経験に誇張があるのではないかという指摘が頻繁になされていることに注目し設けたコードである。また、「性的ゴシップ」コード「他ゴシップ」コードというのも同様に、炎上参加者から指摘された、のぶみが抱えていると思われるゴシップを指す語を分類するために設けたコードである¹¹⁾。「芸能人、有名人」コードと「負の芸能人、有名人」コードが分かれているのは、元の書き込みを読み込んでいった際に、比較的中立的に引き合いに出されている前者と、否定的な意味合いで持ち出されている後者とがあることに気付いたためである。やや論点先取的になるが、後者については、のぶみと付き合いがあり、かつ良くない噂のある芸能人・有名人として書き込みがなされている場合が多い。なお、語についてもネットスラングが多く含まれるため説明をすべきかとは思いますが、全てに説明を加えていくと紙幅が足りなくなるため、今回は省略することとした。

さて、以上のコードを用いて、3期間での出現回数をクロス集計表で比較してみると以下の表の通りとなる。すべてを1つの表にまとめると冗長になるので、関連性の高いコードを1つの表にまとめながら見てみたい。なお、カイ二乗値に*が1つ付いていれば5%水準で、2つ付いていれば1%水準で有意であることを意味する。

表5：炎上対象の呼称に関するクロス集計表

	*のぶみ	*のぶみ蔑称	全文章数 ¹²⁾
くすぶり期	93 (8.65%)	0 (0.00%)	1075
大炎上期	10756 (6.60%)	404 (0.25%)	163047
再燃期	6647 (6.54%)	139 (0.14%)	101559
合計	17496 (6.59%)	543 (0.20%)	265681
カイ2乗値	7.762*	39.956**	

まずここから、炎上を開始してから蔑称が生まれ、その使用が優勢となっていくことが分かる（結果D1）。

次の表は、炎上の発端となった曲である、「あたしおかあさんだから」が批判された根拠の大部分を占める、母親／父親／育児関係のコードと、ジェンダー規範も含んだ倫理、規範コードのクロス集計表である。なお、分母となる「全文章数」の列は表5と同一のため省略する。

表6：母親／父親／育児関係コードと倫理、規範コードに関するクロス集計表

	*子ども一般	*母親	*父親	*育児	*倫理、規範
くすぶり期	35 (3.26%)	19 (1.77%)	2 (0.19%)	1 (0.09%)	2 (0.19%)
大炎上期	3217 (1.97%)	1956 (1.20%)	442 (0.27%)	446 (0.27%)	241 (0.15%)
再燃期	1852 (1.82%)	1708 (1.68%)	246 (0.24%)	263 (0.26%)	133 (0.13%)
合計	5104 (1.92%)	3683 (1.39%)	690 (0.26%)	710 (0.27%)	376 (0.14%)
カイ2乗値	17.626**	107.556**	2.239	1.728	1.409

以上のように、炎上の火種となったとされる、特定の母親像の称揚を批判する語が含まれるコードについては、まずそもそも3期間でそれほど差が見られない。また、3期間で有意な差があるコードもあるとはいえ、分析上意味があるような差があるとも思えない。「母親」コードは、くすぶり期>再燃期>大炎上期の順で使用頻度が高く、炎上の炎の勢いを増す／減じることそのものに「母親」コードに含まれる語が有意味に用いられているとは言えないからである。すなわち、炎上の火種となったものは、炎の勢いが増した後はむしろ“燃料”とはなりえないという可能性が示唆されよう（結果D2）。

続いて、ゴシップ関係のコードに関するクロス集計表である。

表7：ゴシップ関係コードに関するクロス集計表

	*ヤンキーゴシップ	*性的ゴシップ	*他ゴシップ	*パクリゴシップ
くすぶり期	6 (0.56%)	0 (0.00%)	4 (0.37%)	0 (0.00%)
大炎上期	3790 (2.32%)	351 (0.22%)	341 (0.21%)	99 (0.06%)
再燃期	1409 (1.39%)	266 (0.26%)	117 (0.12%)	15 (0.01%)
合計	5205 (1.96%)	617 (0.23%)	462 (0.17%)	114 (0.04%)
カイ2乗値	297.149**	8.388*	34.255**	31.269**

この結果より、ゴシップに関する語、特に「ヤンキーゴシップ」に含まれる語が炎上後に高頻度で用いられていることが分かる。また、「性的ゴシップ」「パクリゴシップ」も「ヤンキーゴシップ」ほどではないとは言えくすぶり期と他の2機を比較すると出現のありようがそれなりに異なることが明らかである。つまりは、火種となったものとは全く関係ないゴシップが“燃料”の1つになることがうかがえる（結果D3）。とはいえ、「他ゴシップ」はくすぶり期にむしろ出現が高いことから、“燃料”はゴシップであれば何でもいいわけではなく、何かしらの選別が働いていることもうかがえる（結果E）。

最後に、のぶみ以外の有名人の名の出現傾向を見てみたい。

表8：のぶみ以外の有名人コードに関するクロス集計表

	*他の絵本作家、マンガ家	*他の作家の作品	*芸能人、有名人	*負の芸能人、有名人	*横山だいすけ
くすぶり期	4 (0.37%)	2 (0.19%)	6 (0.56%)	17 (1.58%)	0 (0.00%)
大炎上期	1073 (0.66%)	209 (0.13%)	633 (0.39%)	1130 (0.69%)	205 (0.13%)
再燃期	494 (0.49%)	47 (0.05%)	213 (0.21%)	363 (0.36%)	41 (0.04%)
合計	1571 (0.59%)	258 (0.10%)	852 (0.32%)	1510 (0.57%)	246 (0.09%)
カイ2乗値	32.259**	44.153**	64.282**	144.339**	50.291**

この結果から、まず、炎上が始まった後に他の作家の名が登場する傾向があることがうかがえる。なお、元の文章に立ち戻って文脈を確認すると、以下のような用法が典型的であった。

314：さく・え／なし[sage] 投稿日：2018/04/24（火）11:52:59.90 ID:???.net

本屋に立ち寄ってのぶみチェックしたんだけど、ママおばが排泄物系のコーナーに並んでて草w

このコーナーには谷川俊太郎さんとかもっちゃうもっちゃう、もちろんうんこちゃんも並ぶ。

(<https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1524445793/>より)

775：さく・え／ななし[sage] 投稿日：2018/05/09（水）08:10:29.51 ID:??? .net
https://www.ehonnavi.net/sp/sp_ehon03_shinkan.asp?ym=2017/07&spf=1
絵本ナビの七月出版予定に載ってないんだけどどこから出版されるんだろう
これみて思ったけどのぶみの塗り方って長谷川知子さんの劣化版でもあるね
(<https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1525519077/>より)

すなわち、のぶみとの比較対象として他の作家を上げ、それによつてのぶみを貶めるような用法である。こうした、比較対象として、炎上対象と立場や属性を同じくする他者が引き合いに出されることも“燃料”の1つとなりうると考えられる（結果D4）。

一方、比較対象とはなりにくい負の芸能人や有名人については、むしろくすぶり期での使用傾向が高い。これも元の文章に立ち戻り文脈を確認すると、以下のような用法が見られる。

5：さく・え／ななし[sage] 投稿日：2017/01/21（土）23:21:42.24 ID:??? .net
お友達の西野が炎上してるよ～
絵本作家って観点から助けてあげて～

37：さく・え／ななし[sage] 投稿日：2017/06/08（木）21:37:16.78 ID:??? .net
キンコン西野と似た者同士
仲良くニコ生やっているな
(<https://www.logsoku.com/r/2ch.sc/ehon/1484754400/>より)

いずれも、お笑いコンビ「キングコング」の西野亮廣とのぶみの親密さと、西野が持つ負の意味を前提に、「悪い仲間とつるんでいる」といったニュアンスで揶揄する書き込みである。また、日付を見ると明らかなように、これらは炎上が起こる前の書き込みである。このように、炎上以前から、後の炎上対象に対して既に何かしらの批判的観点を持っていた者が、負の交友関係を元にやり玉に挙げようとする行為が見られる。当然ながら、負の意味を持つ交友関係だけでは炎上させるような火種にはならないものの、炎上以前のくすぶりとして、こうした負の交友関係が持ち出される傾向があることが確認された。このことから、炎上させる側も、何が炎上の火種になるか事前にわかるわけではないこともあり、結果的に着火には至らないものも含めたさ

まざまな火種を投入している可能性がうかがえた（結果F）。

さて、以上を元にして、次の4章では以上の結果をまとめた上で、炎上の“燃料”としてどういったものが用いられるのか検討することとしたい。

4 おわりに

まずは本稿における分析から得られた結果をまとめたい。

表9：結果のまとめ

結果A	一旦炎上が鎮火に向かっても、何かが投入されることで炎が再燃する
結果B	大炎上前に、若干の火種の投入がある
結果C	炎上を食い止めようとする人々を揶揄する書き込みも、炎上を勢いづける“燃料”の1つとなっている
→結果C'	一旦着火すると、信者／アンチのような、参加者を二項対立的に見なす語が登場し始め、否定的・嘲笑的な意味を持つ語が用いられ始める
結果D1	炎上が始まってから炎上対象の蔑称が生まれ、その使用が優勢となっていく
結果D2	炎上の火種となったものは、着火後は“燃料”としてそれほど有効ではない
結果D3	火種となったものとは全く関係ないゴシップが“燃料”の1つになる
結果D4	比較対象として、炎上対象と立場や属性を同じくする他者が引き合いに出されることも“燃料”の1つとなりうる
結果E	“燃料”はゴシップであれば何でもいいわけではなく、何かしらの選別が働いている
結果F	結果的に着火には至らないものも含めたさまざまな火種が、炎上以前から投入されている

つまりは、まず、炎上の“燃料”については、本稿における分析から以下のことが導かれたと言える。まず、炎上を継続／増大させる“燃料”は、着火の元となった火種とは別に存在し（結果A・結果D2）、それは具体的には、(1) 信者／アンチという二項対立図式の適用（結果C）、(2) 炎上対象に付与される蔑称、（結果D1）、火種とはまた別の、炎上対象が関わるゴシップとして有効なもの（結果D3・結果E）、比較による炎上対象の貶めを目的とした、炎上対象と立場的に近い他者を引き合いに出すこと（結果D4）が挙げられる。また、炎上前から、炎上に至らないものも含めた何かしらの火種が投入され、着火が試みられている（結果B・結果F）ことも明らかとなった。もちろんこれは、本稿における、のぶみの炎上事例から得られたもので、全ての“燃料”が析出されたわけではないが、何が炎上を継続／増大させるのかという本稿の問いについてはある程度の回答が得られたと思われる。

さてここで、先述した、本稿が持ちうる意義に立ち戻って、本稿で得られたこれらの知見から何が言えるか少し考えたい。

まず本稿は、どういう要素が人々を動かしやすいのか明らかにするという社会学・社会心理学的な意義があると先に述べた。社会運動論におけるフレーミング分析などが示したように、人々は、「これが問題である」と示されたものに納得することで社会運動に参加していく。ネット炎上を社会運動の中に組み込んで検討することの妥当性については議論もあろうが、ひとまずネット炎上も、特定の問題化された事象に多くの人々が参加していくことと捉えると、社会運動とかなりの部分重なるところがある。ネット炎上についても、社会運動と同様に、単に「これが問題である」と示されるだけで人々は参加するわけではなく、その問題性が説得的に、かつ効果的に示されないと人々の参加は得られない。すなわち、フレーミングによる問題設定がうまくいかないと、人々の動員は得られないわけである。そう考えると、本稿で得られた結果Fからは、ネット炎上においても、着火に成功しなかった多くのフレーミング実践がなされていること、少なくとも負の意味を持つ交友関係があると示すことだけでは人々はそれほど駆り立てられないということが示唆される。つまりは、「この問題にはこういう悪い人々も関わっているのだ」と示すだけでは人々は駆り立てられず、「この問題は、内容においてここがこう問題なのだ」と示されることが動員においては必要であるということであろう。

また、本稿の持つ第2の意義である、炎上に無批判に加担してしまうことを防ぐすべを提示するという点においても、これらの結果は有用であろう。ネット炎上においては、着火に失敗した火種も含めて、「これならば人々は駆り立てられるのではないか」という“燃料”がどんどん投入されていく。そのなかには、結果Cが示したような、二項対立的図式で参加者を捉えることによって、味方を増やし敵への憎悪を増そうとするかのような“燃料”もある。また、炎上対象のゴシップなども“燃料”とされることがある。しかしながらこれらは、今回の炎上事例で言えば、炎上の元々の発端である「あたしおかあさんだから」が特定の母親像を称揚していたこととは全く関係ないことである。特定の母親像を称揚していたことに批判的なまなざしを向けることと、敵/味方という視点で意見を峻別することや、炎上対象の私的ゴシップを指弾することは全く別の話である。のぶみが暴走族であろうとそうでなかろうと、あるいはそういう詐称をしていたのであろうなかろうと、そのことと「あたしおかあさんだから」の有する問題性を指摘することとはかなりの距離がある。こうした、本来行っていた批判から遠く離れて、元々の話題とは別のことへの批判に連れ去られていってしまう危険性と、そうしたことから距離を取るための相対的視点を持つ手掛かりを、本

稿によって示すことができたのではないだろうか。

以上のように、本稿で行った分析によって新たな知見が得られ、また、そのことには一定程度の意義があると思われる。一方で本稿には課題も残る。第1に、のぶみの炎上事例のみが分析対象となっているため、これがどの程度他の事例に適用可能か、他に“燃料”がないのかといったことについては論じられていないことである。第2に、5ちゃんねるの絵本板という特定の場所における炎上を分析対象としているため、この事例が他の場所でどのような燃え方をしていたか分析することができていない。こうした課題については、今後他事例へのさらなる分析を行うことにより、得られた知見の精緻化を進めていくこととしたい。

[注]

- 1) 宣伝であることを表面上は隠して（ステルス状態で）行う宣伝行為（マーケティング）のこと。
- 2) 社会運動が継続するためには運動参加へのエネルギーが保たれないといけないのと同様のことであろう。
- 3) スレッドを作成した利用者の設定で若干増えることもある。
- 4) 「過去スレ」と表現される。
- 5) 「ワッチョイ」とは、利用者に自動的に付与されるIDのことであり、これが有効化されているスレッドでは、これを元に書き込み主の同一性が確認できることとなっている。
- 6) スレッド作成者のミスで「Part7」が2つある。
- 7) これもスレッド作成者のミスで「Part28」が「Part2」となっている。
- 8) その他にはニュース等新規性の高い話題を論評の対象とする「実況板」や、特にテーマが定められず雑談が行われる「雑談系」の板がある。
- 9) たとえば、書き込みがなされた日時や、匿名での書き込みに付与される「さく・え／ななし」といったハンドルネームは抽出しないようにした。こうした、直接炎上の“燃料”を分析する上では関係しないような語がデータ全体の非常に大部分を占めていたため、分析をゆがめる恐れがあったためである。
- 10) なお、この段階では、表記が異なる同義語（「子供」と「子ども」など）を同一の語として扱っていない（コーディングしていない）ためそれぞれ別個に集計されている。
- 11) なお当然のことであるが、これらのゴシップが事実であるかどうかについて本稿

は関知しない。

- 12) ここで割合を算出する分母は文章数になっている。1つの文章中に1回でも該当コードが出現していれば出現1回とカウントされる。

[文献]

Crossley, Nick, 2002, *Making sense of Social Movements*, Open University Press, Berkshire.

(=2009, 西原和久・郭基煥・阿部純一郎訳『社会運動とは何か——理論の源流から反グローバリズム運動まで』新泉社.)

樋口直人, 2004, 「国際NGOの組織戦略——資源動員と支持者の獲得」大畑裕嗣・成元哲・道場親信・樋口直人編『社会運動の社会学』有斐閣, 97-112.

平井智尚, 2012, 「なぜウェブで炎上が発生するのか——日本のウェブ文化を手掛かりとして」『情報通信学会誌』29 (4) : 61-71.

McCarthy, John., M., and Mayer, N., Zald 1977, “Resource Mobilization and Social Movements: A Partial Theory”, *American Journal of Sociology*, 82-6: 1212-41. (=1989, 片桐新自訳「社会運動の合理的理論」塩原勉編『資源動員と組織戦略——運動論の新パラダイム』新曜社, 21-58.)

荻上チキ, 2007, 『ウェブ炎上——ネット群衆の暴走と可能性』筑摩書房.

Ronson, Jon, 2015, *So You've Been Publicly Shamed*, United Agents, London. (=2017, 夏目大訳『ルポ ネットリンチで人生を壊された人たち』光文社.)

高史明, 2015, 『レイシズムを解剖する——在日コリアンへの偏見とインターネット』勁草書房.

田中辰雄・山口真一, 2016, 『ネット炎上の研究——誰がおり、どう対処するのか』勁草書房.

田代光輝・折田明子, 2012, 「ネット炎上の発生過程と収束過程に関する一考察——不具合に対する嫌がらせと決着による収束」『情報処理学会研究報告グループウェアとネットワークサービス』6 : 1-6.

安田浩一, 2015, 「ネット私刑」扶桑社.